

おだ かつひさ PRESS



〒216-0003
川崎市宮前区有馬6-6-1 五十嵐ハイツ102号
TEL & FAX: 044-856-5456
E-mail: oda@odakatau.com
URL http://odakatsu.com/

連絡先



川崎市議会 副議長(宮前区)
おだ かつひ

予算」と決算」を独自に検証し、税金の使い道をただす

マニフェスト大賞・優秀賞を受賞しました！

このたび、日本最大の政策コンテストである第17回マニフェスト大賞において、私の所属する「みらい川崎市議団」が議員・会派の部で「優秀賞」を受賞しました(2022年11月11日)。

当初予算と決算を具体的に比較し、検証を可能とする財務データを会派で独自に作成します。これを使用して予決算審査を行ってきた実績を高く評価されたものです。

会派独自で資料を作成

当初予算や年度の決算を審査する際に、市側から提供される資料だけでは、市が行なっている事務事業(市民サービスの)の実態は分かりません。

天事業」と称する事業の大枠名称と、この事業費額が掲載されているだけで、予算書と決算書をいくら眺めていても、約3200もある事務事業の個別の実態の詳細を把握することは不可能です。

この原因は、そもそも地方自治法と施行令において、詳細な資料の作成を義務付けていないことにあります。

そこで、議会局と打ち合わせを行いながら、私が会派団長をしていた2015年から独自の資料を作成して審査に供するようにしてきました。

独自資料活用成果

資料活用成果として

- ① 個別事務事業ごとの決算値を正確に把握することができ、事業内容の照会に対して、曖昧な回答がなくなりました。
- ② これまでは「不用額」として処理されてきた財源が、他の事務事業に「流用」されていた実態が明らかになりました。

「流用」は議決を必要とせずに予算の付け替えを内部で可能とできるため、財務規則で「必要最小限」とされています。国会で問題となっている「予備費」問題の、川崎版といえるものです。

③ 同様に、予算執行率の低い事業とその課題を具体的に把握できるようになりました。

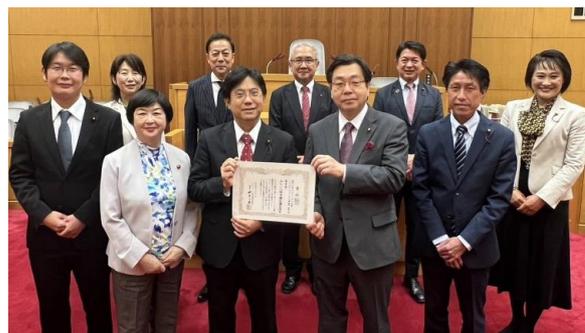
具体例として、昨秋の2021年度決算審査では「保育体制強化事業」の予算が約26億円、不用額が約15億円との事実を把握。

この事業が、保育園の園外活動時の安全を確保するための人件費の補助が目的であることから、人手不足と園外での子どもの安全確保の対応策などを深める議論につなげることができました。

これからも、予算と決算をしっかりと連動させ、税金の適正な使用に向けての政策活動を会派全体で取組んでまいります。

おだ かつひさ (織田 勝久) プロフィール

- ◆ 1961年、川崎市幸区生まれ。
- ◆ 駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業 (地方自治、都市政策専攻)
- ◆ 国会議員秘書を経て、2003年川崎市議会議員初当選。
- ◆ 現在5期目。市議会総務委員会委員長、健康福祉委員会委員長、議会運営委員会副委員長、市議会政策担当者会議メンバー、市監査委員等を歴任。みらい川崎市議団元団長、現在、まちづくり委員会委員。2021年5月、第44代川崎市議会副議長に就任。
- ◆ ボーイスカウト川崎第54団育成会長、宮前区少年野球連盟顧問、原水禁川崎市連事務局長。
- ◆ 尊敬する人物/ケネディー元アメリカ大統領
- ◆ 好きな作家/司馬遼太郎、宮城谷昌光 (激動期の間人模様に興味あり)
- ◆ 好きな言葉/知行合一、 嫌を避くる者は、皆内足らざるなり
- ◆ 長男と二男はそれぞれ独立、妻、猫の3人家族。有馬在住。



岩隈団長(高津区)を中心に
受賞記念撮影